

## 平成29年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象 <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業		<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 経費区分		<input type="checkbox"/> 担当者 <input type="checkbox"/> 内線	小林 3139
全体計画				-				
事務事業名	4042 広聴広報事業							
所 属	050200 総務部・政策推進課							
施 策	07024000 情報発信、広聴・広報の充実							
予算 科目	会計	01 一般会計						
	科目	020109 総務費・総務管理費・企画費						
	事業	030000 広聴広報事業						
事業目的				事業概要・効果				
市の情報をわかりやすく広報するとともに、須坂に関する意見や情報を集める。				広報すざかやホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックの活用や「市公認ポータルサイトいけいけすざか」との連携強化、報道機関を通じた情報発信により、市内外に須坂の事業などを紹介する。 地域づくり市民会議を開催し、地域からの意見を聴取する。また、須坂に関する簡易意識調査(Sコレ調査)を行い、須坂に関するさまざまな声を聞くことで、情報発信などに生かす。				

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
「広報すざか」などさまざまな市の広報媒体を活用するとともに、「いけいけすざか」との連携も強化し、情報発信を行った。 「地域づくり市民会議」などを行い、市民のさまざまな声を聞いた。	誰もが見やすいホームページにする。広報すざかやホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックの活用。「いけいけすざか」との連携強化。報道機関を通じた積極的な情報発信。Sコレ調査を行い、須坂に関するさまざまな声を聞き情報発信にも生かす。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
広報すざかやホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックを活用して情報発信する。また、「いけいけすざか」との連携を強化し、報道機関を介して積極的な情報発信する。	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	「地域づくり市民会議」出席者数				
算式	トップページを開いた回数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	40	41	42	43
	実績	40			
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名	ホームページ閲覧件数				
算式	トップページを開いた回数				単位 件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	510,000	796,000	797,000	798,000
	実績	795,728			
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		20,427	21,211
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	963	1,038
一般財源		19,464	20,173
人員数(人)	正規職員	2.5	2.5
	嘱託職員	1.3	1.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	18,047.5	18,047.5
	嘱託職員	3,581.5	3,581.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	21,629.0	21,629.0
市民一人当たりの経費		0.8	0.8
総額		42,056.0	42,840.0

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	66	市報モニター謝礼、市報4コマ漫画筆耕謝礼
11節 需用費	8,265	広報すぎか印刷、季刊イベントチラシ印刷、消耗品費
13節 委託費	10,740	FMぜんこうじCM放送委託、ホームページ保守など
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	84	長野県世論調査協会負担金、広報協会負担金
その他	1,272	広告料、郵便料、市報編集用機器賃借料など

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	36	市報モニター謝礼
11節 需用費	9,403	広報すざか印刷、季刊イベントチラシ印刷、合冊版発行、消耗品費
13節 委託費	7,597	FMぜんこうじCM放送委託、ホームページ保守、メール配信システム移行・運用
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	84	長野県世論調査協会負担金、広報協会負担金
その他	4,091	広告料、郵便料、市報編集用機器賃借料など

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	市民が必要な時に必要な情報を入手できるようにするには、あらゆる情報をさまざまな方法で伝える必要がある	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	さまざまな方法で情報発信しているが、市民が求めている情報を的確に発信すること、市民に正確に情報が伝わること、行政と市民が共創でまちづくりを進めるために情報を共有することが大切	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	広報紙に広告を掲載し、財源確保に努めている。広報すざかの編集効率をいかに向上させるかが引き続きの課題	

振り返り（決算年度の取組み課題）

情報をさまざまな方法で引き続き発信し、市民らが情報を入手する選択肢を広げるとともに、市民らの声を聴き、効果的な広報に努める必要がある

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>広報すぎか、ホームページ、フェイスブック等の広報媒体を活用し、市政に関する情報を発信することで広報を充実することができた。また、「地域づくり市民会議」などで市政に対する市民の意見を把握することができた。</p>		<p>市民の側に立った、わかりやすい広報、タイムリーな話題など、あらゆる情報媒体を使つての広報を引き続き実施していく。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	